

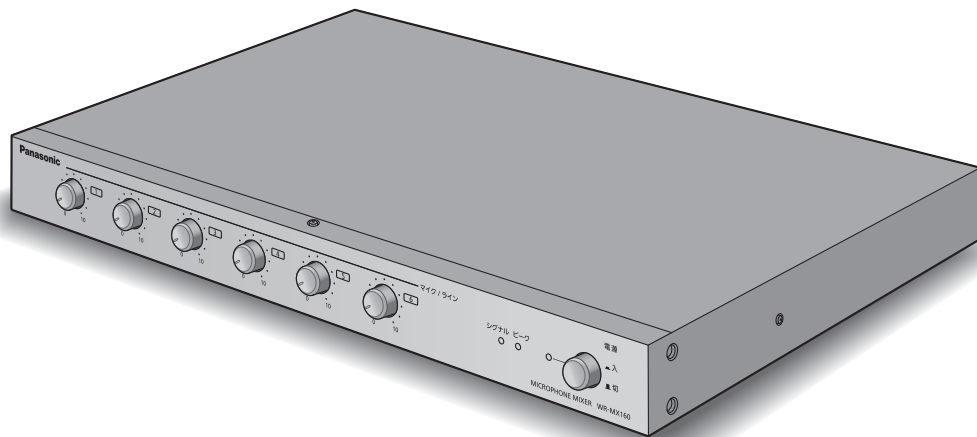
Panasonic[®]

取扱説明書

工事説明付き

マイクロホンミキサー

品番: WR-MX160



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、1台で最大6系統のマイクロホンを接続し、音量調節が可能なマイクロホンミキサーです。入力感度の切り換えにより、CDプレーヤーなども接続可能です。

主な特長

- 入力1～3は大型複式ジャック、入力4～6は大型複式ジャックとピンジャックによる接続が可能です。
- 各入力には前面パネルで音量調節が可能です。
- 各入力の大型複式ジャックは入力感度を3段階（-62 dB / -22 dB / -2 dB）に切り換えが可能です。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..... 1冊
保証書..... 1式

以下の付属品は設置工事で使用します。

ラック取付ねじ（M5×12）..... 2個
ラックマウント金具..... 2個
マウント金具取付ねじ（M4×10）..... 4個
ゴム足..... 4個

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



メモ : 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
主な特長	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
記号について	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部の名前とはたらき	8
前面パネル	8
後面パネル	9

設置

設置のしかた	10
設置上のお願い	10
ラックマウント金具の取り付け	11
ラックへの取り付けかた	11
ゴム足の取り付けかた	12
接続について	13
接続例	13
音声入力の接続	14

その他

外形寸法図	15
ブロックダイヤグラム	16
故障かな!?	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 配線は正しく行う

(ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。)

■ 付属の取付金具を使用する

(落下によるけがや事故の原因となります。)

→ 設置の際は、付属取付金具を使用してください。

■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因となります。)

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

→ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

■ 決められたヒューズを使う

(火災の原因となります。)

■ 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

(コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。)

■ お手入れのときは電源を切る

(けがの原因となります。)

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

→ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。)

→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

■ 取り付けは、必ず本機の電源を切ってから行う

(感電の原因となります。)

警告



禁止

■ 不安定な場所に置かない

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)

■ 異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)

→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)

(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)

→ コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

■ 雷のときは工事、配線をしない

(火災や感電の原因となります。)



接触禁止

■ 雷が鳴り出したら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない (工事時を含む)

(感電の原因となります。)



ぬれ手禁止

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

(感電の原因となります。)



分解禁止

■ 分解しない、改造しない

(火災や感電の原因となります。)

→ 修理や点検は、販売店に依頼してください。



水ぬれ禁止

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない

(火災や感電の原因となります。)

→ 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

(水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。)

→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

 注意

■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。)

→ 必ず販売店に依頼してください。

■ プラグの抜き差しは電源を切ってから行う

(クリック音でスピーカーが破壊する恐れがあります。)



禁止

■ 電源を入れたまま工事、配線をしない

(けがの原因となります。)

■ 幼児の手の届く場所に設置しない

(けがの原因となります。)

■ ケーブルなどは引っ張らない

(けがの原因となります。)

■ ケーブルなどを傷つけない

(重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。)

■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない

(けがの原因となります。)

■ 振動や強い衝撃を与えない

(けがの原因となります。)

使用上のお願い



警告



注意

に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用温度範囲は

0℃～+45℃です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。また、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

電源スイッチを入／切するときは

パワーアンプや周辺機器の電源を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーや周辺機器を破損する恐れがあります。

長期間使用しない場合は

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

結露は、故障の原因になりますので注意してください。

以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
 - 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき
- 結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

お手入れは

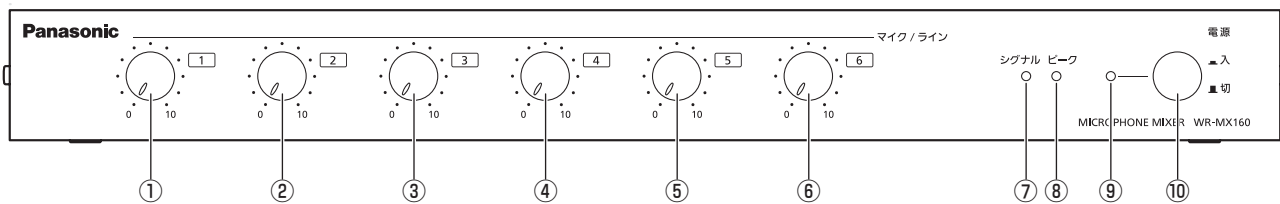
- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

各部の名前とはたらき

前面パネル



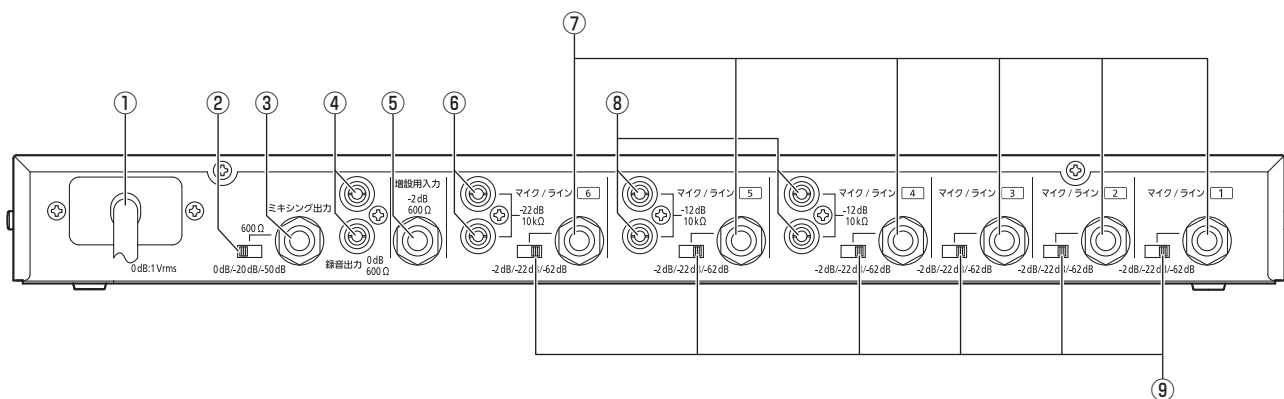
- ① **マイク／ライン1音量つまみ [1]**
マイク／ライン1入力端子に接続された機器の音量を調節します。
- ② **マイク／ライン2音量つまみ [2]**
マイク／ライン2入力端子に接続された機器の音量を調節します。
- ③ **マイク／ライン3音量つまみ [3]**
マイク／ライン3入力端子に接続された機器の音量を調節します。
- ④ **マイク／ライン4音量つまみ [4]**
マイク／ライン4入力端子（大型複式ジャック）とマイク／ライン4入力端子（ピンジャック）に接続された機器の音量を調節します。両入力を同時に使用する場合は、接続機器側であらかじめ音量を調節したうえで、両入力のミキシング音量を調節してください。
- ⑤ **マイク／ライン5音量つまみ [5]**
マイク／ライン5入力端子（大型複式ジャック）とマイク／ライン5入力端子（ピンジャック）に接続された機器の音量を調節します。両入力を同時に使用する場合は、接続機器側であらかじめ音量を調節したうえで、両入力のミキシング音量を調節してください。
- ⑥ **マイク／ライン6音量つまみ [6]**
マイク／ライン6入力端子（大型複式ジャック）とマイク／ライン6入力端子（ピンジャック）に接続された機器の音量を調節します。両入力を同時に使用する場合は、接続機器側であらかじめ音量を調節したうえで、両入力のミキシング音量を調節してください。
- ⑦ **シグナル表示灯 [シグナル]（緑）**
出力レベルを表示します。緑色点灯時は適正範囲です。緑色が点灯するように各音量を調節してください。
- ⑧ **ピーク表示灯 [ピーク]（赤）**
出力レベルを表示します。連続して赤色が点灯する場合は、点灯ないように各音量を調節してください。
- ⑨ **電源表示灯（緑）**
電源が入ると緑色に点灯します。
- ⑩ **電源スイッチ [入／切]**
電源を「入／切」します。

音量つまみの入力端子対応表

音量つまみ	対応大型複式ジャック	対応ピンジャック
マイク／ライン1音量つまみ	マイク／ライン1入力	—
マイク／ライン2音量つまみ	マイク／ライン2入力	—
マイク／ライン3音量つまみ	マイク／ライン3入力	—
マイク／ライン4音量つまみ	マイク／ライン4入力	マイク／ライン4入力端子 （-12 dB 不平衡）
マイク／ライン5音量つまみ	マイク／ライン5入力	マイク／ライン5入力端子 （-12 dB 不平衡）
マイク／ライン6音量つまみ	マイク／ライン6入力	マイク／ライン6入力端子 （-22 dB 不平衡）

0 dB=1 Vrms

後面パネル



① 電源コード

AC100 V 50 Hzまたは60 Hzに接続してください。

② ミキシング出力 出力感度切換スイッチ [600 Ω 0 dB/-20 dB/-50 dB]

接続される機器の入力感度に合わせて切り換えます。

■出力感度切換スイッチの設定位置

	左側：0 dB (出荷時)
	中央：-20 dB
	右側：-50 dB

③ ミキシング出力端子 (ジャック) [ミキシング出力]

(0 dB / -20 dB / -50 dB 切換式、600 Ω 平衡)

接続されるアンプのライン入力ジャックなどと接続します。出力感度切換スイッチ付きです。接続アンプの入力感度に合わせて出力感度を切り換えてください。

④ 録音出力端子 (ピンジャック) [録音出力]

(0 dB 600 Ω 不平衡)

放送内容の録音を行うときは、レコーダーを接続します。

⑤ 増設用入力端子 [増設用入力] (不平衡)

本機をもう1台増設する場合は、増設機側のミキシング出力と接続します。(増設機側の出力感度切換スイッチは0 dB側に設定)

⑥ マイク/ライン6入力端子 (ピンジャック)

[マイク/ライン6] (-22 dB 10 kΩ 不平衡)

CDプレーヤーなどを接続します。ピンジャックは、L/Rチャンネルが本機内部でミキシングされモノラル音声になります。マイク/ライン6入力端子 (ジャック) に機器を接続時出力はミキシングされます。音量調節はマイク/ライン6音量つまみで行ってください。

⑦ マイク/ライン1~6入力端子 (ジャック) [1~6]

(-62 dB / -22 dB / -2 dB 切換式、600 Ω 平衡)

入力感度切換スイッチ付きです。マイクやCDプレーヤーなど接続する機器に合わせて入力感度を切り換えてください。同じ入力番号のピンジャックに機器を接続時出力はそれぞれミキシングされます。音量調節はマイク/ライン1~6の各音量つまみで行ってください。

⑧ マイク/ライン4、5入力端子 (ピンジャック)

[4、5] (-12 dB 10 kΩ 不平衡)

CDプレーヤーなどを接続します。ピンジャックは、L/Rチャンネルが本機内部でミキシングされモノラル音声になります。マイク/ライン4、5入力端子 (ジャック) に機器を接続時出力はミキシングされます。音量調節はマイク/ライン4、5音量つまみで行ってください。

⑨ マイク/ライン1~6入力 入力感度切換スイッチ [-2 dB/-22 dB/-62 dB]

マイクやプレーヤーなど、入力ジャックに接続する機器に合わせて入力感度を切り換えます。

■入力感度切換スイッチの設定位置

	左側：-2 dB
	中央：-22 dB
	右側：-62 dB (出荷時)

設置のしかた

設置上のお願ひ



警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
 - 湿気やほこり、振動の多い場所
 - 温度差の激しく結露しやすい場所
 - ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
 - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
 - 塩害や腐食性ガスの発生する場所
 - 水滴や水沫がかかる場所
- 壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。

使用電源は

AC100 Vです。消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

電源について

本機は電源スイッチを「切」にしただけでは電源を遮断できません。
電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用する。

雑音源は避ける

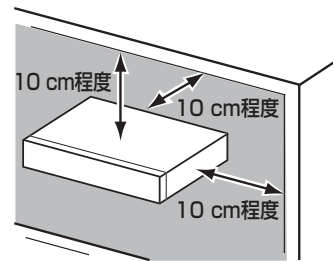
- トランシーバー、トランス、調光器、CRTモニターなどからできるだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受ける可能性があります。
- 電灯線などの雑音源にケーブルを近づけると、ノイズが発生する場合があります。そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線するか、本機の位置を変えてください。

ラックマウント設置を行うときは

ラックにマウントする場合は、ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部部品に悪影響を与え故障の原因となります。

据え置き設置のときは

据え置きの場合は、壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。



静電気について

静電気による破損を防止するために、作業をはじめる前に本機以外の金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

取付ねじはしっかりと締める

工事で使用する取付ねじは、指定の締付トルクにしたがい、しっかりと締めてください。インパクトドライバーはねじを破損させる場合がありますので、使用しないでください。

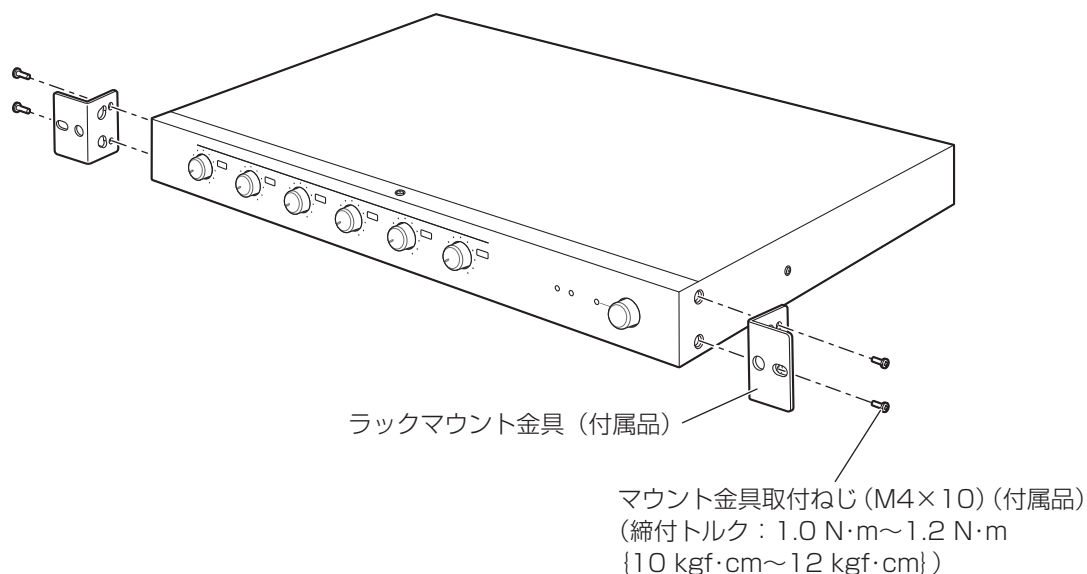
不平衡（アンバランス）接続の場合は

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなりますので、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせる
- 電源系統を統一する
- 各機器のグラウンド端子またはシャーシを接続する

ラックマウント金具の取り付け

付属品のラックマウント金具を下図のように本機に取り付けます。



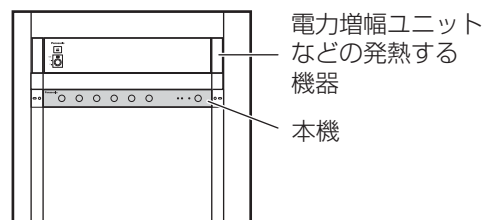
ラックへの取り付けかた

本機は、ラックに取り付けて使用できます。

本機を取り付けるラック（別売品）は、次のいずれかを使用してください。

- スタンダードラック : WU-RS80 収納ユニット数29U（当社製）
※従来品のWU-RS71もお使いいただけます。
- ロングラック : WU-RL85 収納ユニット数41U（当社製）
※従来品のWU-RL76もお使いいただけます。
- EIA規格相当品 : EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

ラック取付例



本機をラックに取り付けるときは、付属のラック取付ねじ（M5×12）2本で、確実に固定します。

ラック取付ねじ（M5×12）の締付トルクは、2 N・m～2.4 N・m {20 kgf・cm～24 kgf・cm} です。

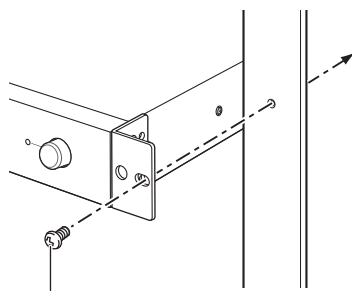


重要

- 本機は電力増幅ユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、1U分以上の間隔を空けてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置しないでください。



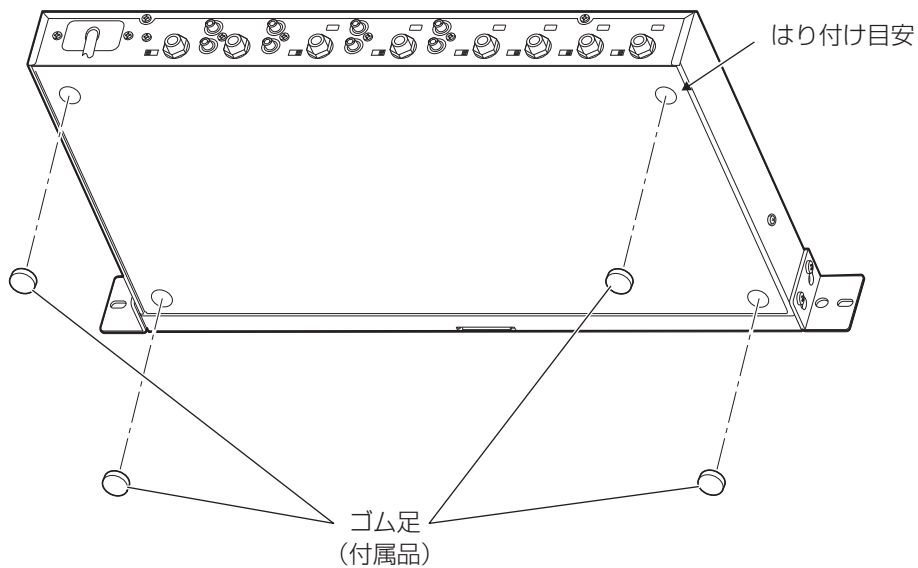
- 他社製ラックに取り付ける場合は、付属のラック取付ねじ（M5×12）2本または取り付けを行うラック側で指定のねじを用意してください。



ラック取付ねじ（M5×12）（付属品）

ゴム足の取り付けかた

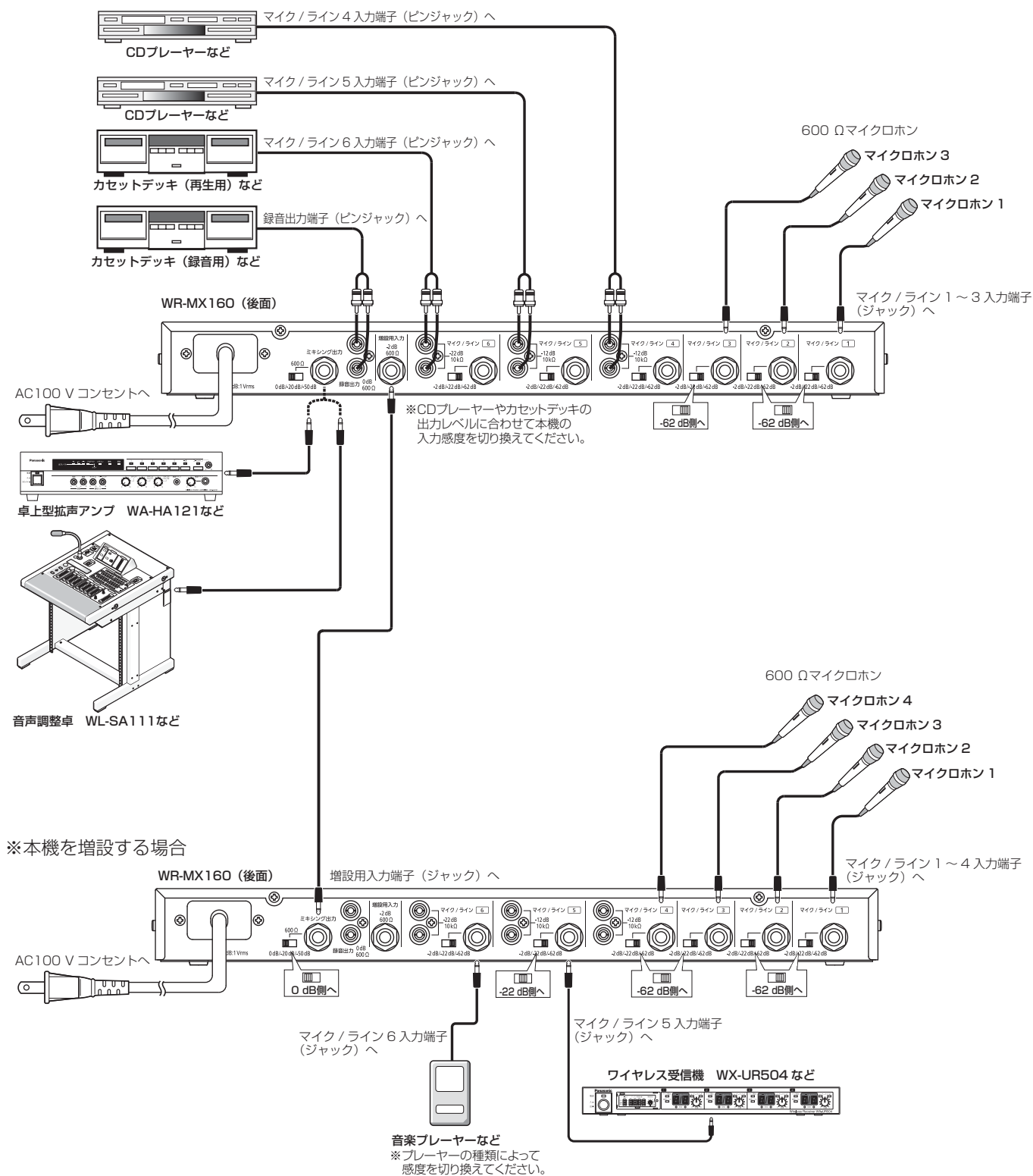
本機を卓面に置いて使用するときは、卓面への傷を防止するため、本機の底面にあるはり付け目安に合わせてゴム足4個（付属品）をはり付けて使用してください。



接続について

接続例

本機を増設した接続例を示します。



接続について

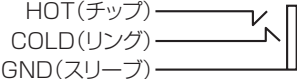
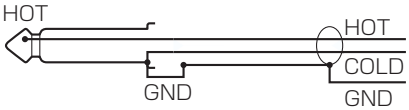
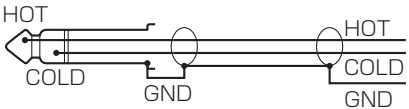
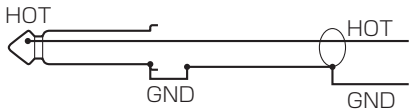
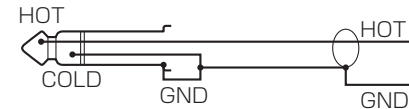
音声入力の接続

■ マイク／ライン入力端子（大型複式ジャック）

各入力端子には、大型複式ジャックが装備されています。

入力機器側の出力形式に応じて、以下の「接続方法」表にしたがった正しい接続をしてください。

接続方法

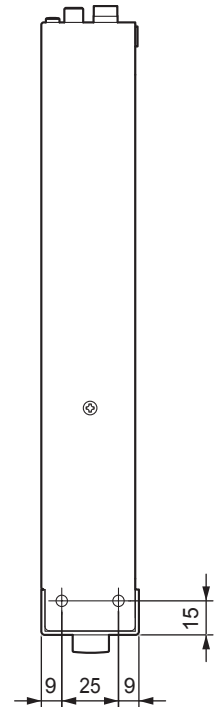
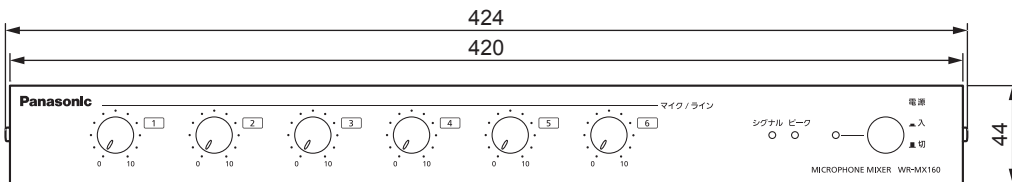
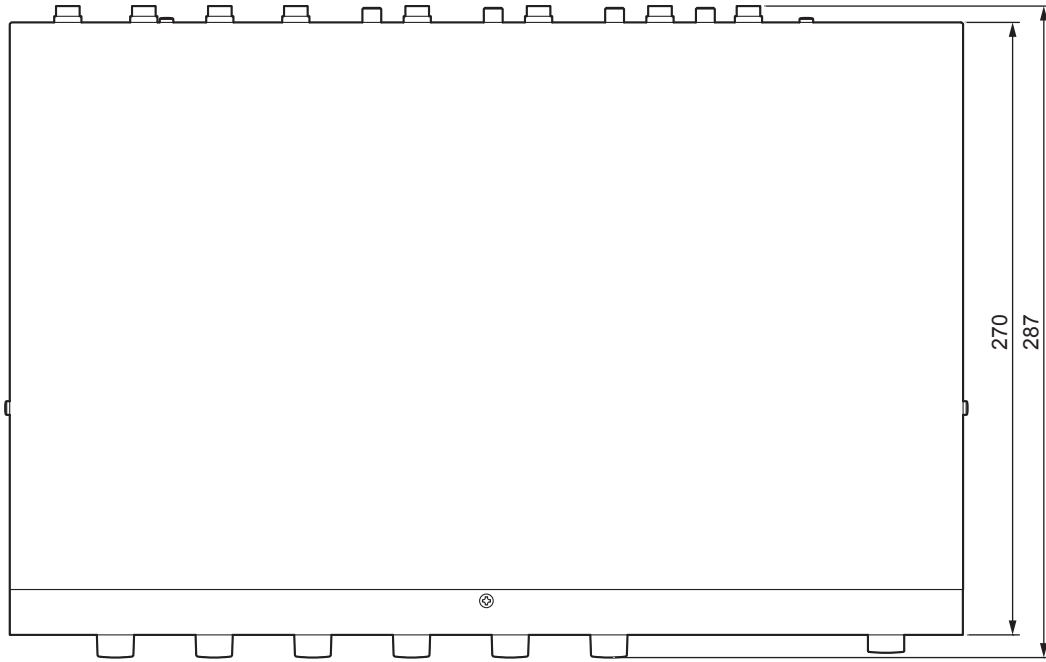
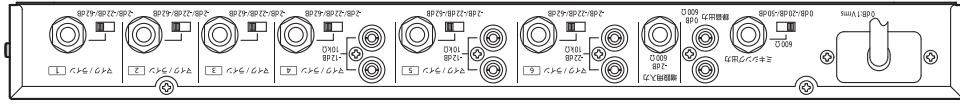
本機側	接続（結線）方法	プラグの形式	マイク／ライン機器の出力形式
 <p>HOT(チップ) COLD(リング) GND(スリーブ)</p>	 <p>HOT GND COLD GND</p>	2極大型フォーンプラグ	平衡
	 <p>HOT COLD GND GND</p>	3極大型フォーンプラグ	
	 <p>HOT GND GND</p>	2極大型フォーンプラグ	不平衡
	 <p>HOT COLD GND GND</p>	3極大型フォーンプラグ	



- プラグを接続するときには必ず電源を「切」にしてください。

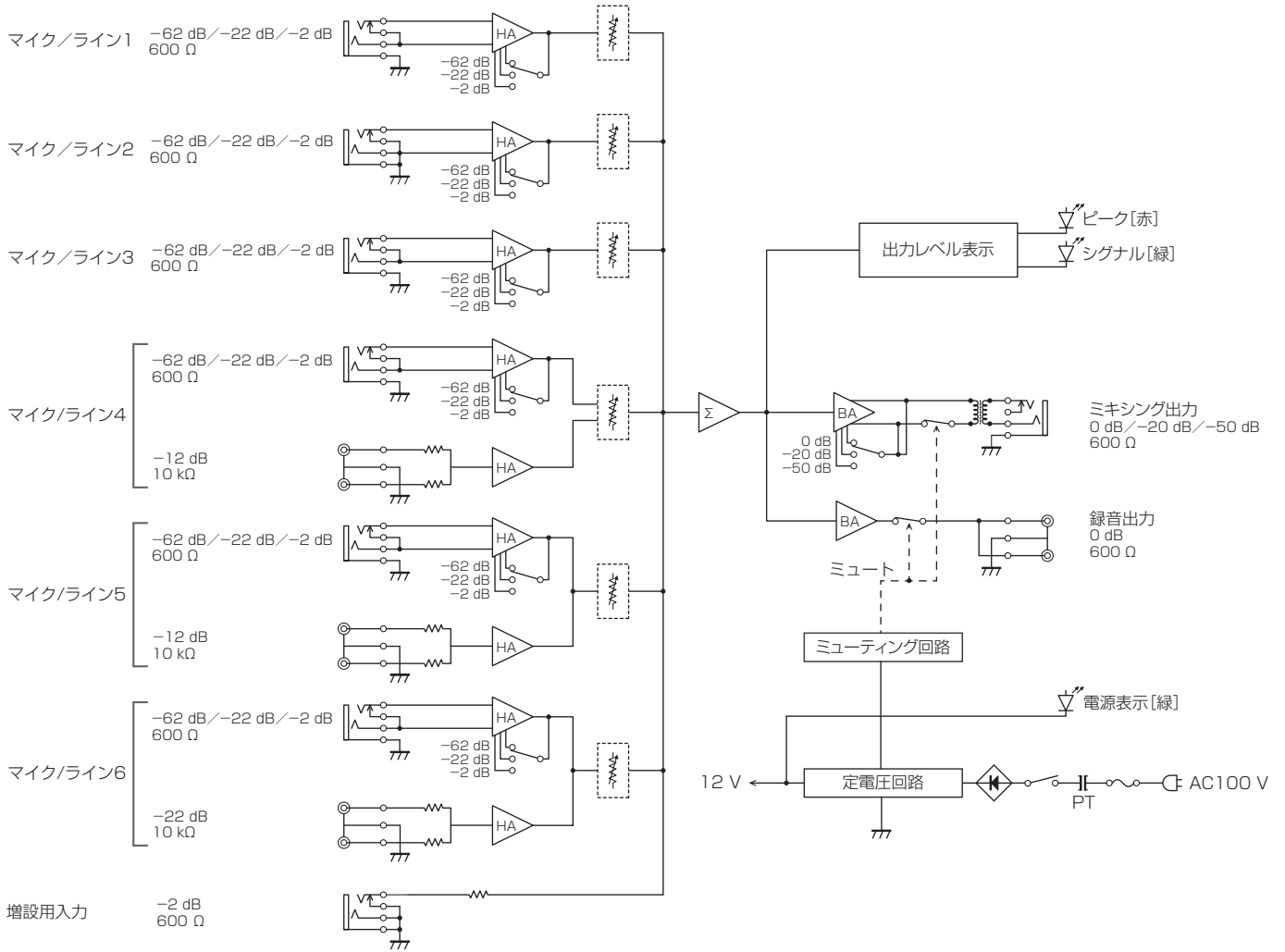
外形寸法図

(単位 : mm)



その他

ブロックダイアグラム



その他

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ → 接続されているか確認してください。	—
音声が出力されない	<ul style="list-style-type: none">● マイク/ライン入力（ジャック）から入力線が外れていませんか？ → マイク/ライン入力（ジャック）に入力線を接続してください。	9、13
	<ul style="list-style-type: none">● ミキシング出力（ジャック）から出力線が外れていませんか？ → ミキシング出力（ジャック）に出力線を接続してください。	9、13
	<ul style="list-style-type: none">● 入力・出力の接続は合っていますか？ → 入力・出力に接続している機器を確認してください。	9、13
	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチが「切」になっていませんか？ → 電源スイッチを「入」にしてください。	8
	<ul style="list-style-type: none">● 音量つまみが「0」になっていませんか？ → 音量つまみを正しく設定してください。	8
	<ul style="list-style-type: none">● 入力感度切換スイッチが正しく設定されていますか？ → 入力感度切換スイッチを正しく設定してください。	9、13
音声出力が大きい または小さい	<ul style="list-style-type: none">● 入力感度切換スイッチが正しく設定されていますか？ → 入力感度切換スイッチを正しく設定してください。	9、13
	<ul style="list-style-type: none">● ピーク表示灯（赤）が点灯していませんか？ → 連続して赤色が点灯しないように各入力音量を調節してください。	8

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	5.2 W*1
使用温度範囲	0 °C~+45 °C
重量	3.3 kg
寸法	幅420 mm 高さ44 mm 奥行270 mm (突起部含まず)
仕上げ	パネル : AVライトグレー色塗装 (マンセルN8近似色) 日塗工 CN-80近似色 上カバー : AVライトグレー色塗装 (マンセルN8近似色) 日塗工 CN-80近似色

*1 この表示は、電気用品安全法の技術基準に基づくものです。

●音声部

マイク/ライン 1~3入力	入力レベル	-62 dB/-22 dB/-2 dB 入力感度切換可 (後面スイッチ)
	入力インピーダンス	600 Ωに適合 平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	大型複式ジャック
マイク/ライン 4~6入力 (ジャック)	入力レベル	-62 dB/-22 dB/-2 dB 入力感度切換可 (後面スイッチ)
	入力インピーダンス	600 Ωに適合 平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	大型複式ジャック
マイク/ライン 4~6入力 (ピンジャック)	入力レベル	マイク/ライン4、5入力 -12 dB マイク/ライン6入力 -22 dB
	入力インピーダンス	10 kΩに適合 不平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	ピンジャック×2
増設用入力	入力レベル	-2 dB
	入力インピーダンス	600 Ω 不平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	大型複式ジャック
ミキシング出力	出力レベル	-50 dB/-20 dB/0 dB 入力感度切換可 (後面スイッチ)
	出力インピーダンス	600 Ω 平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	大型複式ジャック
録音出力	出力レベル	0 dB
	出力インピーダンス	600 Ω 不平衡
	周波数特性	50 Hz~20 kHz
	端子	ピンジャック×2

0 dB=1 Vrms

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?(17ページ)」でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	マイクロホンミキサー
●品番	WR-MX160
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください


故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号